

## 東北地方防災エキスパート(港湾・空港)登録申請書

東北地方防災エキスパート(港湾・空港)登録規約の内容を了解し、東北地方防災エキスパート(港湾・空港)制度要綱 第3の規定に基づき申請します。

平成 年 月 日

東北地方防災エキスパート(港湾・空港)事務局長  
東北地方整備局  
港湾空港部長 殿

申請者 住 所 〒

フリガナ  
氏 名

印

生 年 月 日	昭和 年 月 日生	性 別	男 ・ 女
連 絡 先	勤 務 先	名称 住所 〒 電話 — — FAX — —	
	緊 急 連 絡 先	住所 〒 電話 — —	
健 康 状 態	良好 ・ 普通 ・ やや不健康 ・ 不健康	血液型	型
指 定 参 集 場 所			
被 災 情 報	自宅近辺等	第1:	第2:
通 報 事 務 所	勤務地近辺等	第1:	第2:
経 歴 等	別 紙 の 通 り		

注1：個人データの取り扱いについては、責任を持って保管・管理し  
本人の許可なく他に使用することは一切ありません。

注2：指定参集場所は、自己の最も活動可能と思われる事務所等を記入。

注3：写真裏面に必ず地区名及び氏名を記入する。(写真は1枚、但し  
写真代は、各人で負担して下さい。デジタル画像データ可)

(写真は貼付しな  
いで下さい。)  
カラー  
縦3cm\*横2.5cm  
(無帽、正面、  
上半身、無背景、  
6ヶ月以内撮影)

No. 1

## 経 歴 等

申請者氏名：

<p>1. 交通状況（居住地から最寄りの駅まで）</p> <p>①最寄りの駅名：_____（交通機関名：JR・私鉄 _____ 線）</p> <p>②駅までの距離：_____ km    ③駅までの時間：_____ 分（_____）</p> <p>注：②・③は概略とする。駅までの時間は、日頃の利用方法で記入し（ ）内に徒歩・自転車・バス・自家用車等の別を記入する。</p>
<p>2. 取得資格（取得している資格に○印をするものとする。複数回答可）</p> <p>①技術士（_____部門） ②技術士補（_____部門） ③土木施工管理技士（1・2級）</p> <p>④建築士（1・2級） ⑤測量士 ⑥測量士補 ⑦造園施工管理技士（1・2級）</p> <p>⑧建設機械施工技士（1・2級） ⑨管工事施工管理技士（1・2級）</p> <p>⑩ダム工事総括管理技術者 ⑪電気工事施工管理技士（1・2級） ⑫コンクリート技士</p> <p>⑬危険物取扱者（甲・乙・丙種） ⑭火薬類取扱保安責任者（甲・丙種）</p> <p>⑮建設業経理事務士（1・2・3・4級） ⑯不動産鑑定士 ⑰不動産鑑定士補</p> <p>⑱その他（_____）</p>
<p>3. 取得免許（取得している免許に○印をするものとする。複数回答可）</p> <p>①自動車免許（大型 普通 自動二輪） ②旧船舶免許（小型船舶1・2・3・4級）</p> <p>③新船舶免許（小型船舶1・2級・特殊） ④無線特殊免許（1・2・3級）</p> <p>⑤その他（_____）</p>
<p>4. 得意分野（得意としている分野に○印をするものとする。複数回答可）</p> <p>1) 調査・計画／①港湾 ②空港 ③河川 ④砂防・地すべり等 ⑤ダム ⑥道路 ⑦公園 ⑧建築 ⑨地域計画</p> <p>2) 設計、工事監督・監理／①港湾 ②空港 ③河川 ④河川構造物 ⑤砂防・地すべり等 ⑥ダム ⑦道路改良 ⑧道路構造物 ⑨鋼橋架設 ⑩PC橋 ⑪舗装 ⑫共同溝 ⑬トンネル ⑭公園 ⑮建築 ⑯その他（_____）</p> <p>3) 管 理／①港湾 ②空港 ③河川 ④ダム ⑤道路 ⑥公園</p> <p>4) 一般事務等／①総務事務 ②経理・契約 ③用地事務</p>
<p>5. 活動分野（どの様な分野で活動が出来るか、○印をするものとする。複数回答可）</p> <p>ア 自宅近傍の被災情報の収集・連絡</p> <p>イ 施設点検の協力</p> <p>ウ 災害対策支部における情報整理・連絡補助</p> <p>エ 災害対策支部の内部支援</p>
<p>6. 公共機関等を退職した時の役職（④については、○印をするものとする。）</p> <p>①退職年月 <u>S・H</u> 年 月 ②所属 _____</p> <p>③役職 _____ ④職種／土木・建築・機械・電気・化学・事務</p>

No. 2

## 経 歴 等

申請者氏名：

7. 公共機関等退職後の職歴（新しい順に記入するものとする。）				
就職年月	退職年月	財団・会社名等	勤務先 TEL	勤務先住所
注：港湾・空港施設等の整備等についての専門的なノウハウを確認するため、経歴等を記入していただくものです。				
8. 公共機関等に在職していた時の職歴（新しい順に最大10個程度を記入する。）				
発令年月	所 属		役 職	
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				
S. H 年 月				

注1：所属は部・事務所名及び課・出張所名を記入する。

注2：港湾・空港施設等の整備・管理等についての専門的なノウハウを確認するため、経歴等を記入していただくものです。

第 号

東北地方防災エキスパート(港湾・空港)登録通知証

〇〇〇地区

〇〇 〇〇 殿

貴殿は港湾・空港施設等の整備・管理等についての知識・経験等を有しているので、東北地方防災エキスパート（港湾・空港）として登録することを証します

平成 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日

東北地方防災エキスパート(港湾・空港)事務局長

東 北 地 方 整 備 局

港湾空港部長 〇〇 〇〇

\*用紙はA－4判とする。

(表 面)

東北地方防災エキスパート（港湾・空港）登録証明証

氏名 (生年月日)	
血液型	型
住所	
登録番号	
登録年月日	平成 年 月 日

(写 真)  
縦：3.0 cm  
横：2.5 cm  
カラー  
写真の裏側に必ず  
氏名を記入して下  
さい。

発行者 仙台市青葉区花京院一丁目1番20号 花京院スクエア10F  
東北地方防災エキスパート（港湾・空港）事務局長  
東北地方整備局 港湾空港部長 ○○ ○○ ㊟

(裏 面)

東北地方防災エキスパート（港湾・空港）  
東北地方防災エキスパート（港湾・空港）とは、港湾・空港施設等の整備・  
管理等についての専門的なノウハウを持ち、東北地方における大規模災害発  
生時に港湾・空港施設等の被災情報の迅速な収集等の支援活動をボランティ  
アとして行う者である。

注 意

1. 本証は、他人に貸与してはならない。
2. 本証は、公印、写真貼付のないものは無効とする。
3. 不要になった場合は、直ちに東北地方防災エキスパート（港湾・空港）事  
務局へ返還すること。

\*用紙の大きさは、85mm\*60mmとする。

# 東北地方防災エキスパート（港湾・空港）登録変更等 申請書

平成 年 月 日

東北地方防災エキスパート（港湾・空港）事務局長  
東北地方整備局  
港湾空港部長 殿

登録証番号 第 号

申請者

氏名 印

下記のとおり、東北地方防災エキスパート（港湾・空港）の登録事項に変更が有りましたので、東北地方防災エキスパート（港湾・空港）制度要綱 第3の規定に基づき申請します。

変更に係る事項	変 更 後	変 更 前
変更年月日		
住所 〒 電話		
勤務先 名称 住所 〒 電話・FAX		
緊急連絡先 住所 〒 電話・FAX		
指定参集場所		
通報災害情報所 被 災 事 務 所	自宅 近辺等	第1：
		第2：
	勤務地 近辺等	第1：
		第2：
登録	辞 退	

注：登録を取り消そうとする場合は、変更後欄の辞退に○印をつける。

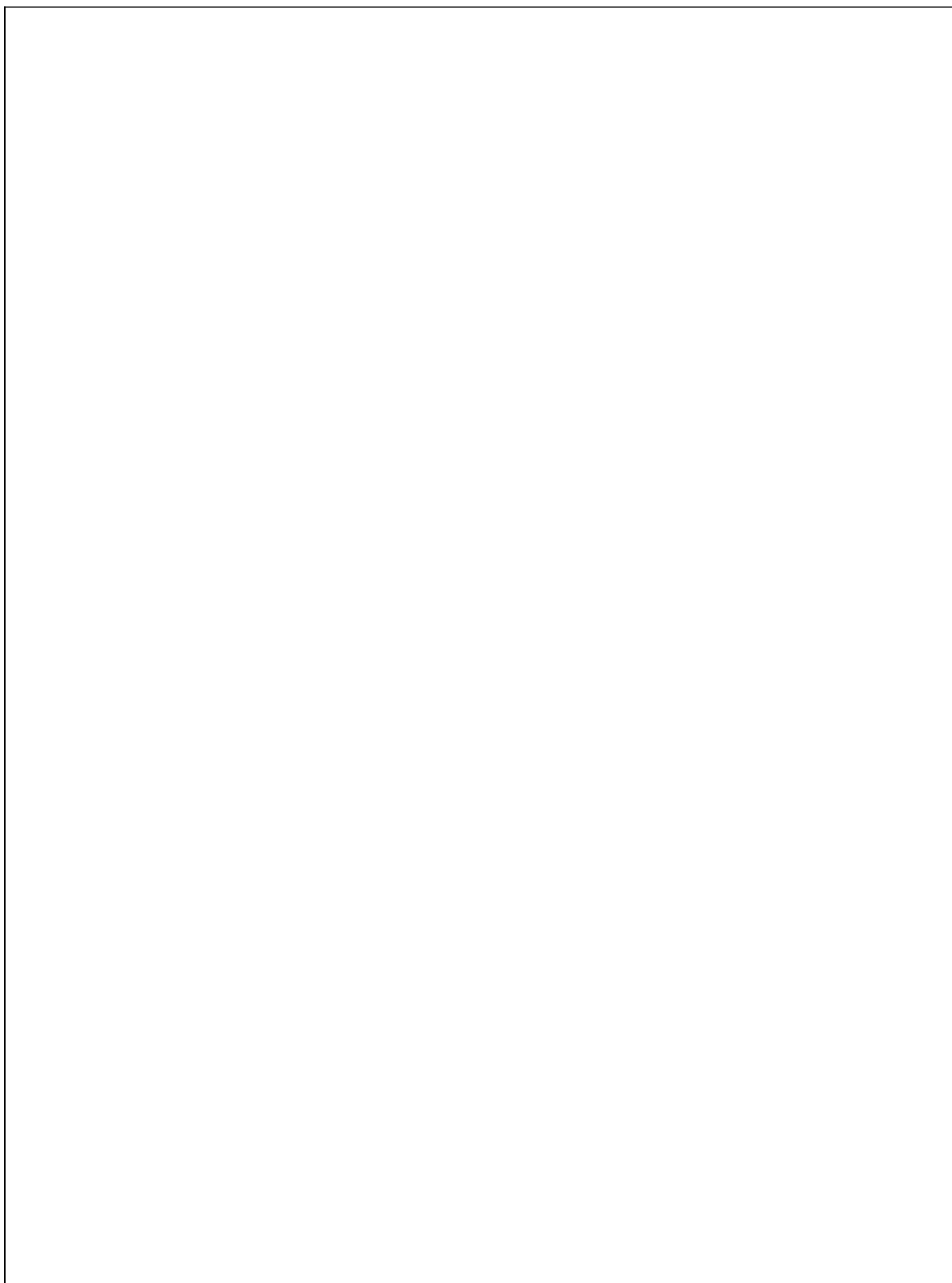
## 【東北地方防災エキスパート（港湾・空港）情報伝達・通報用紙】

平成 年 月 日		登録番号	
氏 名			
参集先（事務所・出張所名）		出発時刻 : 時 分	
参集方法（いずれかに○）		徒歩・自転車・その他	
参集時刻 : 時 分		参集時刻 : 時 分	
通報先（事務所・出張所名）		通報時刻 : 時 分	
自宅周辺及び参集途上の公共土木施設・建築物等（直轄以外も含む）の被災状況			
<p>【被災状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災箇所及び被害のない区間を記入する。</li> <li>・被災箇所については、下記の項目等について記入する。</li> </ul> <p>① 港湾名、河川名、路線名、公園名、建築物名等</p> <p>② 被災箇所及び被害のない区間</p> <p>③ 被害内容</p> <p>④ 様式-6への直接記入も可</p>			

【注】被災状況は目視によって行うが、可能な場合はデジタルカメラ等で撮影する。  
様式-6に参集ルートを記入して下さい。（地図のコピー、切り貼に記入しても可）

**【参集経路（ルート）図】**

(自宅、又は勤務先からの参集ルートを記入して下さい。)



**【注】** ルート上の公共土木施設の被災状況等を記入して下さい。